

## 令和2年度 第2回 桐生市総合教育会議 議事録

○日時 令和2年7月22日(水) 午後3時30分～午後4時30分

○場所 桐生市役所 議場棟2階 正庁

### ○出席者

【構成員】	桐生市長	荒木 恵司
	桐生市教育委員会	
	教育長	柴崎 隆夫
	教育長職務代理者	板橋 英之
	教育委員	新居 理恵
	教育委員	高山 信廣
	教育委員	山野 玲子
【事務局】	《市長部局》	
	共創企画部長	新井 利幸
	企画課長	田島 規宏
	スポーツ振興課長	新井 敏彦
	青少年課長	上原 敏行
	企画課企画戦略担当係長	金子 貴征
	《教育委員会事務局》	
	教育部長	西場 守
	教育部参事	前原 通宏
	総務課長	小山 貴之
	学校教育課長	飯泉 尚士
	生涯学習課長	藤川 恵子
	新里公民館長	天沼 寿美雄
	黒保根公民館長	柿沼 一盛
	文化財保護課長	萩原 清史
	図書館長	浅野 都
	学校給食中央共同調理場長	園田 博宣
	教育未来室長	原橋 貴史
	教育未来室教育未来係長	千葉 敦弘
	教育未来室教育未来係	寺島 達也

【傍聴者】 1名

【報道機関】 1名

## ○議事の概要

### 1 開会 〈司会：教育未来室長〉

### 2 市長あいさつ 〈荒木市長〉

皆様、こんにちは。

本日は、お忙しい中、「令和2年度 第2回 桐生市総合教育会議」にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、日頃から教育行政はもとより、市政の各般にわたりお力添えをいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、第2期桐生市教育大綱につきましては、5月21日にWEB会議システムを活用した第1回総合教育会議を開催し、皆様から大綱策定の方向性についてご意見をいただき、そのご意見を基に大綱の骨子を作成いたしました。

また、今月2日には、市P連と幼P連の役員の皆様と大綱の骨子に関する意見交換を行い、そのご意見を参考させていただきながら、本日、皆様にご協議いただき、第2期桐生市教育大綱の素案を作成いたしました。

委員の皆様には、第2期桐生市教育大綱素案に関する忌憚のないご意見をいただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 3 協議・調整事項 〈議長：荒木市長〉

#### (1) 第2期桐生市教育大綱素案について

- ・資料「第2期桐生市教育大綱素案」に基づき、事務局から説明
- ・意見、質疑応答は以下のとおり。

発言者	発言内容
荒木市長	ただ今、事務局から第2期大綱の基本理念、基本方針、施策等について説明がありましたが、皆様からご質問やご意見をお願いいたします。また、細かな部分については、素案のページを示していただいた上で、ご質問やご意見をお願いいたします。
板橋委員	大変すっきりしていて、良い素案になっていると思います。基本理念について、非常に良いと思うのですが、「世界に羽ばたく」というと桐生から出て行ってしまうイメージがありますので、「世界で活躍できる人づくり」という表現の方が桐生から出ていくという印象がなくて良いように思うのですが、いかがでしょうか。桐生で育った人材が、世界で活躍できるといった意味であるとは思いますが、「世界に羽ばたく」というと桐生から出て行ってしまうような気がしました。 また、5ページの専門教育の充実について、「外国語に触れる」とありますが、「外国文化に触れる」という方がより良いように感じました。

発 言 者	発 言 内 容
荒木市長	事務局としてはいかがですか。
事務局 (教育未来係長)	今、頂戴いたしましたご意見を参考にさせていただきながら、行政案に反映できるよう努めてまいりたいと思います。
荒木市長	「世界に羽ばたく」に飛んでいなくなってしまうという印象を持っていなかったのですが、そういったご意見も含めて、他にございますか。
板橋委員	「世界に羽ばたく」に桐生から出て行ってしまうというイメージを持たれてしまい、育った人材がいなくなってしまうという印象になってしまうかもしれないと感じました。我々としては、世界を舞台に活躍し、桐生を世界に発信できる人材を育成したいということです。
荒木市長	もう一つが、専門教育の充実について、「外国語に触れる」という箇所を「外国文化に触れる」にした方が良いのではというご指摘をいただきました。多文化共生が叫ばれる中で、それぞれの国の言語に関する教育も大切ですが、文化という大きな枠組みで捉えることも重要でありますので、この箇所についても、再度、表現を検討してもらいたいと思います。他にございますか。
柴崎教育長	<p>5ページの教育内容の充実について、先日の市長とPTAとの意見交換会においても、桐生は環境も素晴らしいし、桐生を好きな子供も育っているというご意見をいただき、今までの教育の方向を評価していただきましたので、このことを更に充実させていくという意味で良いと思うのですが、「黒保根町の特色ある教育」という表現があり、黒保根町というように地区を限定して良いものかと思えます。市長とPTAとの意見交換会の中でも、各地区にそれぞれ特色があるというご意見がありましたので、「地域の特色ある教育」に表現を変えた方が良いでしょうと思います。</p> <p>また、板橋委員からご指摘のありました「世界に羽ばたく」については、桐生で生活し、桐生の未来を担うとともに、世界的にも活躍する人材という意味を含めて「世界に羽ばたく」という表現にしているように思います。桐生の外に出て行ってしまうというのは想像していなかったのですが、いつでも世界に目を向けていることは必要であると思います。</p> <p>その他、細かなことは、教育行政方針の中に出てきますので、大綱については、大きな観点から各項目が並んでいると理解していただければと思います。</p>
荒木市長	5ページの教育内容の充実について、「黒保根町の特色ある教育」というように特定の地区の名称を出すのではなく、「地域の特色ある教育」という表現が良いのではというご意見についてですが、私のイメージでは、新しく小中一貫校と、その先の義務教育学校を黒保根町で進めていくことが示されていると思います。過日、黒保根町の方と「市長のふれあいトーク」を行った際にも、黒保根町の特色を生かした小中一貫校はどのような

発 言 者	発 言 内 容
	姿なのかといったご意見が大半でした。西町インターナショナルスクールをはじめとする英語教育が進んでいることや、黒保根保育園の園児に対しても英語に親しむ教育が行われていることなど、特化されているものが色々ある中で、更に一步進んだ特色あるものを打ち出した方が良いのではというご意見もあり、素案に「黒保根町の特色ある教育」という形で表現したものと理解していますが、委員の皆様のご意見はいかがでしょうか。
高山委員	特定の地区の名称を使うことについてということでしょうか。
荒木市長	教育長からは、大綱でありますので、地域を限らず、全ての地域の特色ある教育という表現にした方が良いのではという意見がありましたが、黒保根町で小中一貫校がスタートすることを視野に入れた表現になっているように思いますが、委員の皆様のご意見はいかがでしょうか。
高山委員	先ほど、教育長の話にありましたように、教育行政方針等を作る際には具体的な内容になってくるものと思います。市長とPTAとの意見交換会での意見を見ますと、イングリッシュキャンプという提案があり、こうした提案を西町インターナショナルスクールとの交流と関係付けられれば、地域を限定した表現にしなくても発展させることができると思いますので、大綱の中では、具体的な内容を避けた方が良いでしょうと思います。
荒木市長	先ほど、教育長から話のありました通り、教育行政方針の中で具体的な事業を明記していくこととなりますので、大綱の中では、大局的に捉えて表現した方が良いでしょうと思います。従いまして、教育長や高山委員のご指摘の通り、地域を限定した表現でない方が良いでしょうと思います。
高山委員	もう1点、桐生ならではの特色ある教育の充実の中で、「群馬大学と連携した事業等の拡充を図り、幼・小・中の一貫した教育プログラムの創出を目指します。」とありますが、高等学校は含まれていないのには理由があるのでしょうか。
事務局 (教育未来係長)	この表現につきましては、総合戦略と同じ内容を大綱の中に掲載させていただきました経緯があります。
柴崎教育長	桐生市教育委員会が管轄している教育は、幼・小・中ということで、こうした表現になっていることと思いますが、管轄外になりますが、市内に幼稚園から大学まで一貫した教育施設があることを考えますと、公立や私立を問わず、また、市外から通学している子供も、桐生で学ぶ子供であると認識しており、将来は桐生市のために頑張ってくれる人材であると思っています。文化やスポーツをはじめ全ての面で、桐生で活躍してくれていますので、桐生市としては、園児から大学生まで、全て桐生の子という感覚で施策を考える必要があると思っています。しかしながら、大綱には、どのように表現したら良いかというところまで至っていない状況にありますので、再度、事務局で検討をお願いします。

発 言 者	発 言 内 容
荒木市長	<p>総合計画との整合性を図りながら、この部分も作られているため、こうした表現になると思いますが、気持ちとしては、教育長や高山委員のご意見を踏まえながら進めていくということでご理解いただくということによろしいでしょうか。</p> <p>また、先ほど、板橋委員と教育長からご意見のあった基本理念についてですが、この部分だけは、本日、協議して決めておいた方が良いでしょうと思いますが、事務局としてはいかがでしょうか。</p>
事務局 (教育未来室長)	<p>基本理念については、本日、ご協議いただき、まとめていただければと思います。</p>
板橋委員	<p>基本理念の表現を絶対に変えてほしいということではなく、改めて、基本理念の下にあります3つの要旨を見ますと、「桐生の発展を牽引する人材や世界を舞台に活躍する人材を育成する」とありますので、「世界に羽ばたく人づくり」でも、活躍する人材を育成するということが分かりますのでよろしいかと思います。「世界で活躍できる人づくり」であると、どこにでもあるような表現になってしまいますので、「世界に羽ばたく人づくり」の方が、桐生らしくて良いと思います。</p>
荒木市長	<p>先ほども説明があったように、桐生を好きであるという郷土愛を育むところから、更に一步飛び出して、自分のまちを作り、世界に羽ばたけるような人材の育成を目指しており、現行の大綱からバージョンアップした基本理念となるものと思います。ここは、とても大切な部分でありますので、皆様のご意見をいただく中で、本日、結論付けたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
柴崎教育長	<p>新型コロナウイルス感染症が発生する以前の世界の様子としては、実際に現場に行かないと仕事ができないというイメージがありましたが、これからは、世の中が変わって、実際に現場に行かなくても、世界に羽ばたける時代が来るように思います。今後は、「世界に羽ばたく」というのが実際に現場に行くということではなくて、世界で活躍する、あるいは、世界に通用するという意味であり、言葉として人に与える印象が強いので「世界に羽ばたく」が良いように思います。</p> <p>他のところでも、例えば、教育環境の充実の中の「時代の変化に即した教育環境の充実」には、ICT教育なども全て含まれており、そういった具体的なことは、教育行政方針の中に出てくるものと思います。</p> <p>これからの時代は、私も予測がつかないのですが、予測がつかないくらい世の中に大きな変化があるのではないかと思います。</p>
荒木市長	<p>それでは、基本理念につきましては、「桐生の未来を担い 世界に羽ばたく人づくり」ということで、よろしいでしょうか。</p>
構成員	<p>【異議なし】</p>

発言者	発言内容
荒木市長	では、基本理念は、「桐生の未来を担い 世界に羽ばたく人づくり」に決定したいと思います。その他、ご意見やご質問はございますか。
柴崎教育長	7ページの社会教育の充実について、今まで社会教育をイメージした時に、大人への教育をイメージしていたが、これからは、子供に対しても社会教育が大切であると考えています。今までのシステムでは、子供に関することは全て学校というイメージがあり、家庭で行うべきこと、社会で行うべきことも全て学校に行ってほしいという傾向があり、このため、学校は非常に忙しくなっています。この子供に対する社会教育というものをしっかり考える必要があると思います。桐生市では、放課後子供教室を実施しており、子供の居場所づくりというよりも、子供の社会教育であると言えます。大人だけでなく、子供にも社会教育が必要であるということ意識していればと考えています。表現の方法については、改めて検討していただきたいと思います。
荒木市長	教育長のご意見の通り、ご指摘の点を表現の中に組み込んだ方が良いでしょうと思います。他にございますか。
山野委員	5ページの適正配置の推進について、幼稚園の適正配置や園数を減らすという方針はないのでしょうか。また、6ページの相談体制の充実について、「相談窓口のワンストップ化」とあり、とても良い方向性であると感じました。幼稚園から高校まで、子供が成長する過程には、色々な子育ての悩みがあり、子育て支援や福祉にも関わってくる面もありますが、一つの場所で様々なサービスを受けられるようにワンストップ化を図ること、青少年教育の充実にも相談機能の充実がありますが、多様な相談を継続してできる場所があることは、とても良いことであると感じましたので、具体化できると良いように思います。 もう1点、8ページの芸術・文化の振興について、「心豊かなまちづくり」という表現がありますが、「豊かな心と文化を育むまちづくり」と変えた方が良いでしょうと思いました。
荒木市長	幼稚園の適正配置についてはいかがですか。
事務局 (教育未来室長)	学校適正配置の推進につきましては、令和2年度の市政運営方針にもありますが、小中学校だけでなく、幼稚園も含めて、子供の教育環境に一番良いのかを検討してまいりたいと考えております。 幼稚園の適正配置につきましては、子育て部門の関係部署と連携しながら、今後のあり方について検討を進めてまいりたいと考えております。
荒木市長	大綱に幼稚園の適正配置を盛り込むことは位置付けとして難しいのでしょうか。
柴崎教育長	保育園との関わりがあり、幼稚園だけでは単独で動けない部分もありますが、幼稚園と保育園に関しては検討が進められている状況にあります。

発言者	発言内容
柴崎教育長	現状としては、学校だけでなく、幼稚園も子供が少なくなっているため、統合する必要がある園もあります。今、幼児教育も、幼稚園、保育園、子ども園など、色々な形があるので、それらは、教育委員会だけでなく、今後、保育園を管轄する部署と一緒に考えなければならないと思います。
山野委員	市立幼稚園以外のものも一緒に考えていますか。
柴崎教育長	公立の幼稚園や保育園については一緒に考えています。
荒木市長	<p>「相談窓口のワンストップ化」については、結婚、妊娠、出産、子育てといった子育て部門についても、相談窓口の一本化を図るために、桐生駅北口に子どもすこやか部を新設して、専門的な相談窓口を含めたワンストップ化を図り、しっかり機能させながら、多様な相談に対応できるように進めています。</p> <p>また、8ページの「心豊かなまちづくり」という表現についてはいかがですか。</p>
事務局 (教育未来室長)	基本方針の表現につきましては、総合計画の表現を活用しておりますので、できましたら現状のままを進めさせていただけるとありがたいと思います。
山野委員	分かりました。
荒木市長	他にございますか。
新居委員	<p>6ページの教育研究・研修の充実について、内容としては先生方の研修ということであると思いますが、先生方の資質の向上を図るだけでは解決しきれない学校現場の課題があると思います。結局のところは、マンパワーの不足ということになると思いますが、それを社会教育で補っている状況にあると思います。そういう部分について、大綱の中で触れる方が良いのか触れない方がよいのか。</p> <p>また、5ページの教育環境の充実について、施設・設備の充実といったハード面の充実だけでなく、学校にいる先生方も含めて、子供や家庭にとっては教育環境であるため、そういった部分の課題を市としてどのように考えていくのか、どうにもならない部分もあるかと思いますが、どのようにお考えでしょうか。大綱の素案については、すっきりしていて、とても読みやすいものになっていると思います。</p>
事務局 (教育未来室長)	ご指摘の通り、教育環境の定義付けというのは、ハード面や仕組みに特化されている部分もありますが、これから質の高い教育を目指す中では、教育環境を大きく捉えるべきであると思います。先ほど、教育長からご指摘がありました通り、7ページに社会教育の充実がありますが、子供に対する社会教育を含めて、社会教育の役割を見直す必要があるように思います。家庭・地域・学校の最適化を図るという意味では、社会教育の充実が切り口になるように思います。

発 言 者	発 言 内 容
荒木市長	<p>社会教育の充実の部分に、新居委員のご意見を入れるとすっきりするよう に思います。どちらかというと、ハードとソフトに分けながら、そのど ちらでもない部分、補う部分が社会教育であるように思います。できれば、 その部分に新居委員のご意見を組み入れていただきたいと思います。</p> <p>他にございますか。よろしいでしょうか。それでは、皆様には、貴重な ご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。「第2期桐生市 教育大綱素案について」は、ただ今、ご協議いただきました内容を踏まえ、 次回の総合教育会議において、大綱の行政案を提示させていただき、ご意 見を頂戴したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の議事は以上ですが、その他、皆様から何かございましたらお願い いたします。</p>
事務局 (教育未来係長)	<p>第3回総合教育会議についてですが、8月20日木曜日の午後3時30 分から、市民文化会館の第1会議研修室で開催予定でありますので、よろ しくお願いいたします。</p>
荒木市長	<p>第3回総合教育会議は、8月20日木曜日の午後3時30分から、市民 文化会館の第1会議研修室で開催する準備を進めたいと思います。</p> <p>その他にございますか。よろしいでしょうか。本日は、お忙しい中、ご 協議いただき、ありがとうございました。事務局に進行をお返しします。</p>
事務局 (教育未来室長)	<p>ありがとうございました。以上をもちまして、令和2年度第2回桐生市 総合教育会議を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。</p>

#### 4 閉会 〈司会：教育未来室長〉